

定例教育委員会

議

案

議案第19号

坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について

坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について、次のとおり承認を求める。

令和6年12月17日提出

坂井市教育委員会

教育長 林 晃司

○坂井市教育委員会表彰規則

平成18年3月20日
教育委員会規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、学校教育、社会教育、社会体育及び学術文化の振興発展に貢献したものの表彰に関し必要な事項を定めるものとする。

(個人及び団体の表彰)

第2条 坂井市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、学校の教職員、教育機関の関係者、その他の個人及び団体で、次の各号のいずれかに該当するものがあるときは、これを表彰することができる。

- (1) 学校教育の振興に貢献し、その功績の著しい者
 - (2) 教育施設の充実整備に貢献し、その功績の著しい者
 - (3) 社会教育又は社会体育の振興に貢献し、その功績の著しい者
 - (4) 学術又は文化の向上発展に貢献し、その功績の著しい者
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、表彰に値すると認める業績又は行為のあった者
- (生徒及び児童の表彰)

第3条 教育委員会は、学校の生徒及び児童で次の各号のいずれかに該当するものがあるときは、これを表彰することができる。

- (1) 有益な調査研究、発明発見又は工夫考案した者
 - (2) 生徒若しくは児童の名誉を高め、又は他の模範とするに足る行為のあった者
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、表彰に値すると認める業績又は行為のあった者
- (表彰の種類)

第4条 この規則による表彰の種類は、功労賞、功績賞及び奨励賞とする。

(表彰の方法)

第5条 表彰は、表彰状を授与して行う。ただし、金品の加授又はその他特別の待遇を与えることができる。

(表彰の時期)

第6条 表彰の時期は、教育委員会においてその都度決定する。

(表彰の内申)

第7条 学校長及び教育関係機関その他の団体の長は、第2条又は第3条に該当すると認められるものがあるときは、別記様式により内申書を提出する。

(表彰選考会の設置)

第8条 教育委員会に表彰選考会(以下「選考会」という。)を置く。

2 選考会は、表彰の候補者を選考し、教育委員会に報告する。

(被表彰者の決定)

第9条 被表彰者は、選考会において選考した者のうちから教育委員会が決定する。ただし、緊急を要する場合は、選考会の選考を経ずに被表彰者を決定することができる。

(選考会の構成)

第10条 選考会の委員は、その都度教育長が委嘱する。

2 選考会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

(選考会の運営)

第11条 会長は、会務を総理する。

2 会長は、選考会を代表し、教育委員会に推薦及び経過を報告する。

(その他)

第12条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成18年3月20日から施行する。

附 則 (平成24年8月27日教委規則第8号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (令和6年3月19日教委規則第1号)

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

議案第20号

坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について

坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について、次のとおり承認を求める。

令和6年12月17日提出

坂井市教育委員会

教育長 林 晃司

坂井市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱

令和 年 月 日
坂井市教育委員会告示第 号

坂井市就学援助費支給要綱（平成18年坂井市教育委員会告示第62号）の一部を次のように改正する。

別表第2中「54,060円」を「57,060円」に改める。

附 則

この告示は、令和7年1月1日から施行する。

坂井市就学援助費支給要綱(平成18年坂井市教育委員会告示第62号)新旧対照表

| 改正案(新) | | | | 現行(旧) | | | | | |
|--------------------------|------------------------|-----------|---------|--------------------------|----|------------------------|-----------|---------|--------------|
| 別表第2(第7条関係) 就学援助費の支給額 | | | | 別表第2(第7条関係) 就学援助費の支給額 | | | | | |
| 番号 | 費目 | | 支給額 | | 番号 | 費目 | | 支給額 | |
| | | | 小学校 | 中学校 | | | | 小学校 | 中学校 |
| 1 | 学用品費 | | 11,630円 | 22,730円 | 1 | 学用品費 | | 11,630円 | 22,730円 |
| 2 | 通学用品費(第1学年を除く) | | 2,270円 | 2,270円 | 2 | 通学用品費(第1学年を除く) | | 2,270円 | 2,270円 |
| 3 | 入学準備金 | | 57,060円 | 63,000円 | 3 | 入学準備金 | | 54,060円 | 63,000円 |
| 4 | 新入学学用品費 | | 57,060円 | 63,000円 | 4 | 新入学学用品費 | | 54,060円 | 63,000円 |
| 5 | 校外活動費 | 宿泊を伴わないもの | 1,600円 | 2,310円 | 5 | 校外活動費 | 宿泊を伴わないもの | 1,600円 | 2,310円 |
| | | 宿泊を伴うもの | 3,690円 | 6,210円 | | | 宿泊を伴うもの | 3,690円 | 6,210円 |
| 6 | 学校給食費 | | 実費 | 実費 | 6 | 学校給食費 | | 実費 | 実費 |
| 7 | 修学旅行費 | | 22,690円 | 60,910円 | 7 | 修学旅行費 | | 22,690円 | 60,910円 |
| 8 | 体育実技用品費(柔道・剣道) | | — | 実費(上限7,650円) | 8 | 体育実技用品費(柔道・剣道) | | — | 実費(上限7,650円) |
| 9 | 通学費 | | 実費の1/2 | 実費の1/2 | 9 | 通学費 | | 実費の1/2 | 実費の1/2 |
| 10 | 医療費 | | 実費 | 実費 | 10 | 医療費 | | 実費 | 実費 |
| 11 | PTA会費 | | 3,000円 | 4,000円 | 11 | PTA会費 | | 3,000円 | 4,000円 |
| 12 | 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金 | | 実費 | 実費 | 12 | 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金 | | 実費 | 実費 |

議案第 2 1 号

坂井市文化財保護審議会に諮問することについて

坂井市指定文化財に新規指定することに関して、坂井市文化財保護審議会に別紙のとおり諮問することについて承認を求める。

令和 6 年 1 2 月 1 7 日提出

坂井市教育委員会
教育長 林 晃司

令和6年 月 日

坂井市文化財保護審議会
会長 木村 昌弘 様

坂井市教育委員会
教育長 林 晃司

諮問書（案）

坂井市文化財保護条例第4条4項の規定に基づき、下記の文化財について、坂井市指定文化財への指定について諮問します

記

- | | | |
|---|----------|--|
| 1 | 名称及び数 | 永正寺鐘楼門 1棟 附 脇塀 |
| 2 | 所在地 | 福井県坂井市三国町神明二丁目10-42（永正寺） |
| 3 | 指定者又は管理者 | 永正寺 |
| 4 | 種類 | 建造物 |
| 5 | 指定の理由 | 寺の文書によると、天明7年(1787)に建立、その後、度々修理がなされており、建物修理痕跡と一致する。越前赤棧瓦葺建物としては、県内でも早い時期の建物であり、上下層とも縁周りを除く全てが漆喰で覆われるという、県内では類例が見られない楼門である。 |

以上

令和6年 月 日

坂井市文化財保護審議会
会長 木村 昌弘 様

坂井市教育委員会
教育長 林 晃司

諮問書（案）

坂井市文化財保護条例第4条4項の規定に基づき、下記の文化財について、坂井市指定文化財への指定について諮問します

記

- | | | |
|---|----------|--|
| 1 | 名称及び数 | 永正寺長屋門 1棟 |
| 2 | 所在地 | 福井県坂井市三国町神明二丁目10-42（永正寺） |
| 3 | 指定者又は管理者 | 永正寺 |
| 4 | 種類 | 建造物 |
| 5 | 指定の理由 | 天保元年(1830)、あるいはそれまでに土蔵として建てられ、安政2年(1855)に格子窓を設け長屋門とした。これは寺の記録と一致している。土蔵を改造して、栈梁を用いず、引き戸を用いた簡素な長屋門で、珍しい遺構である。 |

以上

議案第 22 号

就学指定校の変更許可について

就学指定校の変更許可について、次のとおり変更許可の承認を求める。

令和 6 年 12 月 17 日提出

坂井市教育委員会

教育長 林 晃司